

目次

- 展覧会への招待……………2
- 新展示紹介……………3
- 学内連携の教育活動……………4
- 報告・資料をご寄贈いただきました……5
- 開館カレンダー・利用案内……………6

教草第十二 葛粉一覽

丹波修治（識）・中嶋仰山（画） 文部省博物館
木版色摺 38.0×51.3cm 明治6（1873）

日本政府は、明治6年に開催されたウィーン万国博覧会に参加しました。その際各府県から集めた物産やその原料、生産技術に関する資料をもとに、子供を対象として図説したのが《教草》^{おしえぐさ}です。編纂の中心人物であった博物学者の田中芳男（1838-1916）は、幼いうちから各物産の概略を知ることが、将来の産業興隆につながると考えました。《教草》は明治5年から7年にかけて34種製作されました。明治8年の内務省の火災によって版木の多くが失われましたが、焼失分については再刻されています。

展覧会への招待

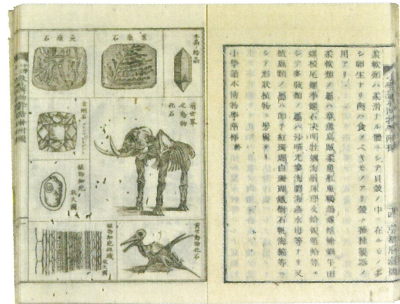
明治の教育と博物学

こどもたちが学び楽しんだ、自然をめぐるモノづくし

このたびの明治150年を記念して、企画展「明治の教育と博物学」を開催します。

博物学とは、自然界に存在する動物、植物、鉱物を調査し、その種類、性質、分類などを研究するとともに記録する学問であり、今のように科学分野が分化する前の自然物研究の総称といえます。東洋では主に薬となる自然物を探求する学問が生まれ、これを本草学と呼びました。

明治5(1872)年に「学制」が頒布されて、近代学校制度がはじまると、博物学は小学校教育の中に取り入れられました。近代科学の合理的な自然観をもとに、身近な自然を観察し、科学的な考え方を養う博物学は、動物、植物、金石(鉱物)に分科され、物理、化学、生理と並んで学校教育の中で重視されました。明治中期になると、博物学は物理、化学、生理を統合した「理科」という科目になり、科学教育の基礎を担う科目分野になりました。展示では、江戸時代の本草学をはじめ、本草学から影響を受けた学問、博物図譜などをもとに、博物学の流れをたどります。そして、学校教育がはじまった中で見られる教育用の絵図や教科書、掛図を始めとし、更には博物館や博覧会事業の中で制作された博物画、家庭で学び、楽しまれたおもちゃ絵、雑誌類、絵本などに見られる博物学をもとに、明治時代の教育を支えた博物学の諸相を紹介します。



(小学読本) 生物学階梯
中川重麗(訳述)
明治13(1880)年



掛図 熱帯動物実観
海狸(ビーバー)
川喜多徳五郎(著作)
明治

◆会期 2018年10月29日(月)～2019年1月27日(日)

◆時間 9:00～17:00(入館は16:30まで) 入館無料

◆休館日 11/4・14・15・24、12/1・15・20～31、1/1～9・14・20

◆協力 玉川大学教育学術情報図書館

※展示期間の前期と後期で一部資料の入れ替えがあります

前期 10/29(月)～11/30(金) 後期 12/2(日)～1/27(日)

【関連事業】

◆ハンズオン・体験講座「作ってみよう和装本風ノート」

①中学生から大人対象(定員15名) 2018年11月18日(日) 13:30～15:00

②小学生対象(保護者同伴・定員15組) 2018年12月9日(日) 13:30～15:00

※両日とも参加費無料(要事前申込) / 詳細および申込方法はホームページをご覧ください

◆野外観察会「玉川学園の植物を楽しむ丘めぐり」

①2018年11月23日(金) 13:30～15:30 秋の七草、カエデの紅葉をめぐる観察会

②2019年1月12日(土) 13:30～15:30 春の七草をめぐる観察会

【対象】両日とも小学4年生～大人 ※小学生は保護者同伴のこと

※両日とも参加費無料(要事前申込) / 詳細および申込方法はホームページをご覧ください

◆ギャラリートーク

①2018年11月11日(日) ②12月7日(金) ③12月18日(火) ④2019年1月17日(木)

【時間】各回とも13:30～14:30(予約不要)

新展示紹介

「ガスパール・カサド 原智恵子コレクション」

Gaspar CASSADÓ and HARA Chieko Collection



ガスパール・カサド (左) と
原智恵子 (右)

ガスパール・カサドと原智恵子

ガスパール・カサド (Gaspar Cassadó, 1897-1966) は、スペイン出身の 20 世紀を代表する世界的音楽家・チェリストのひとりです。1958 年と 1962 年に来日し、東京や大阪などで演奏会を行っています。その妻である原智恵子 (1914-2001) は、戦前から世界的に活躍をした日本人ピアニストの草分け的存在です。1937 年に開催された、第 3 回シヨパン国際ピアノコンクールに東洋人として初めて参加し、聴衆賞を得ています。ふたりは、1959 年に結婚後「デュオ・カサド」として世界各地で演奏しました。カサド亡き後も、原は「マダム・カサド」として、イタリアのフィレンツェで「G. カサド国際チェロ・コンクール」を創設するなど、音楽文化の発展に貢献しました。

「ガスパール・カサド 原智恵子コレクション」について

玉川学園では、1990 年に原智恵子本人とご家族により、カサドと原の音楽活動に関する資料をご寄贈いただきました。「カサド・原コレクション」は、夫妻の演奏レパートリー譜やカサド自身の手稿譜をはじめ、19 世紀以前に出版された貴重楽譜、演奏会プログラム、レコード、図書、雑誌などを中心に形成され、また夫妻の愛用の品も含まれています。2016 年に開催した当館の特別展「デュオ・カサドー今よみがえるチェリストガスパール・カサドとピアニスト原智恵子の世界ー」(『ガスパール・カサド没後 50 年・原智恵子没後 15 年記念祭』) や、2017 年の駐日スペイン大使館における「ガスパール・カサド 原智恵子コレクション展」ではコレクションの中から選りすぐった資料を展示し、国内外から非常に大きな反響を頂きました。

4 月より、年間を通してコレクションをご覧いただけるよう、新たに「ガスパール・カサド 原智恵子コレクション」コーナーを常設展示として設けました。展示する資料を入れ替えながら、世界の舞台上で活躍した、カサド・原夫妻の活動を紹介していきます。



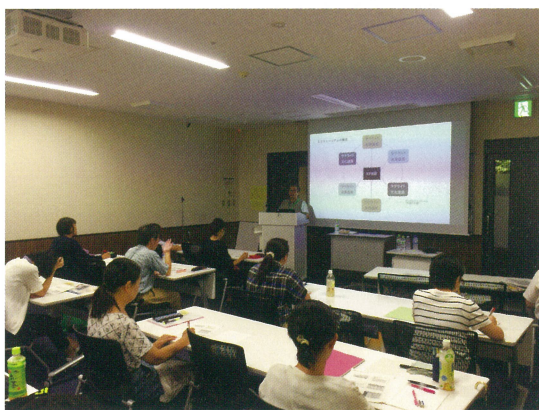
学内連携の教育活動

教員免許状更新講習「博物館資料の活用と学校教育」

2017年3月に改訂され、2020年度から順次施行される学習指導要領では、学校と博物館の積極的な連携が求められています。小学校や中学校の現場では、どのように博物館を利用した学習活動を組み立てることができるのか、教師たちの真剣な模索がはじまっています。こうしたなか、本年度当館は、本学教師教育リサーチセンターと協力して『玉川大学教員免許状更新講習』において、学校と博物館の連携についての研修活動を行う講習「博物館資料の活用と学校教育」を初めて開講しました。2018年8月3日に開催した本講習には、小学校、中学校の教員ら22名が参加し、当館の学芸員が講師となり、午前中に講義、午後にワークショップを行いました。

午前中の講義では、社会における博物館の役割や活動内容、博物館利用の意義、学習指導要領に示されている学校と博物館の連携に関する部分の説明、そして当館で実践した小学校と博物館での「博学連携プログラム」の事例紹介等を行いました。

午後は、参加者が2つのグループに分かれて、当館の2つの展示室を会場に、2種類のワークショップを行いました。展示内容と関連するワークショップをそれぞれのグループが交互に受講し、展示室という空間を十分に生かせるよう工夫しました。ワークショップのひとつは、江戸・明治時代の教育資料が展示されている第1展示室で行った「江戸時代の和装本を活用したハンズオン体験と和装本風ノートの制作」です。ここでは江戸・明治期において実際に使用されていた和装本を手に取り、仕様や質感など、資料を肌で感じてもらいました。その後で、身近に手に入る材料を使って、各自が和装本風ノートを制作しました。もうひとつは、絵画、彫刻などの美術資料が展示されている第2展示室で行った「対話型鑑賞教育の実践」です。ここでは、山口薫（1907-1968）の油彩画「鱒池のほとり」を鑑賞し、各々が感じたことや考えたことを発表し合うことで、他の受講者と意見の共有や相違を体験し、作品への理解を深めていきました。受講者のバックグラウンドは様々でしたが、みなこの作品に高い関心を示し、作品に関するディスカッションは活発なものになりました。その後の受講者アンケートでは「実際に活動している博物館を会場にしたワークショップは非常に有意義であり、楽しく学ぶことができた」との声を頂きました。



講義



ワークショップ

報 告

■大学生への教育活動

「一年次セミナー」における見学

大学での学びを確かなものにするためには、入学直後にしっかりと大学での学び方を習得することが大切だという考えのもと、本学では1年生全員が履修する「一年次セミナー」を春・秋学期にわたって開講しています。この内容のひとつとして「教育博物館の見学」があります。当館には、日本教育史資料や美術資料、創立者小原国芳・玉川学園に関する展示があります。これらを見学することにより、大学生としての教養や自校史理解を深めることが期待されます。最初に当館の成り立ちや展示資料の概要、博物館見学のマナーなどを学芸員が説明した後で、学生たちは館内を自由に、あるいは課題をもって見学します。今年の注目資料は、昨年8月に学内から出土した縄文土器です。スケッチに挑戦する学生の姿も見られました。



■博物館実習

通信教育課程「夏期スクーリング」

2018年8月10日～16日 42名

通学課程「館務実習」

2018年8月20日～9月13日 27名

■資料の貸出し

・福井県教育博物館「幕末明治福井の教育『近代教育のはじまり』」(2018/9/15(土)～11/11(日)) 50音図など 計10点
・パナソニック汐留ミュージアム「子どものための建築と空間展」(2019/1/12(土)～3/24(日)) こん棒など 計5点

■人の動き

当館嘱託職員の佐藤直人は、委嘱期間が満了になりました。(2018年3月31日付)

当館課長補佐の松田育子は、学園教学部学園教学課に転出し、後任に総務部管財課から課長補佐田中弥生子が転入、また、嘱託職員として田後政子が配属となりました。人事部非常勤嘱託職員(専門スタッフ)として佐藤直人が当館に出向勤務します。(以上、2018年4月1日付)

統計(2017年10月～2018年3月)

開館日数 131日 入館者数 2236名

収集

〔資料〕 日本教育史 25件
 芸術 2件

〔図書〕 和書 301冊 洋書 1冊

〔定期刊行物〕 和雑誌 30冊

洋雑誌 13冊

資料をご寄贈いただきました(順不同・敬称略 2018年4月～8月)

| | | | | | |
|--------|-----------|-----|-------|-------------|-----|
| 川添 孝子 | カサド・原関係資料 | 一式 | 槻木 瑞生 | 教育史関係資料 | 24点 |
| 照屋 さゆり | 教育史関係資料 | 64点 | 山口 高弘 | 考古資料 | 一括 |
| | 学園史関係資料 | 52点 | 寺沢 建 | 教育史関係資料 | 3点 |
| 高橋 昭 | 学園史関係資料 | 2点 | | ありがとうございました | |

2018年度下半期 開館カレンダー

2018年10月

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|----|----|----|----|----|----|----|
| | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 |
| 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 |
| 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 |
| 28 | 29 | 30 | 31 | | | |

11月

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|----|----|----|----|----|----|----|
| | | | | 1 | 2 | 3 |
| 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 |
| 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 |
| 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 |
| 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | |

12月

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|----|----|----|----|----|----|----|
| | | | | | | 1 |
| 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 |
| 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 |
| 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 |
| 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 |
| 30 | 31 | | | | | |

2019年1月

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|----|----|----|----|----|----|----|
| | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 |
| 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 |
| 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 |
| 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | | |

2月

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|----|----|----|----|----|----|----|
| | | | | | 1 | 2 |
| 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 |
| 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 |
| 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 |
| 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | | |

3月

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|----|----|----|----|----|----|----|
| | | | | | 1 | 2 |
| 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 |
| 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 |
| 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 |
| 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 |
| 31 | | | | | | |

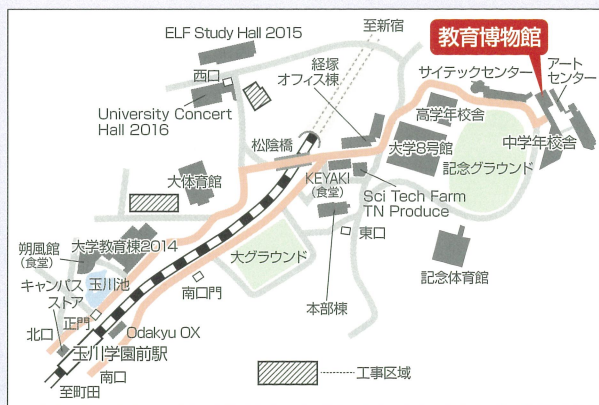
10月29日(月)～2019年1月27日(日) 企画展「明治の教育と博物学」

休館日

第1展示室(日本教育史常設展示)のみ公開

※ この予定は、大学授業・行事日程等により変更することがあります。

詳細は当館ホームページをご覧ください、電話等にてお問い合わせください。



交通手段

小田急線「玉川学園前」駅下車 徒歩 15分
 駅南口を出て、線路沿いの道を新宿方向に進むと、玉川学園の校門(南口)に行き当たります。博物館の建物の位置は、校門の案内所でお尋ね下さい。

(来館者用駐車場はありません。また校内での園児・児童・生徒・学生の安全のため、お車での来館はご遠慮下さい。)

利用案内

開館時間 午前9時～午後5時
 (入館は午後4時30分まで)

休館日 日曜日・土曜日・祝休日・玉川大学の定める休日・展示替期間
 (展覧会会期中並びに日曜日・土曜日及び祝休日に大学の通常授業や学校行事が行われる場合、当館も臨時に開館することがあります。詳細はお問い合わせください。)

入館料 無料

博物館ニュース SHŪ No.51

2018年9月20日

編集・発行 玉川大学教育博物館

〒194-8610 東京都町田市玉川学園 6-1-1

TEL 042-739-8656 FAX 042-739-8654

www.tamagawa.jp/campus/museum/

『SHŪ』とは『集』、さまざまな「集められたもの」をめぐり、多くの人々の「集いの場」になることを目指して名づけたものです。